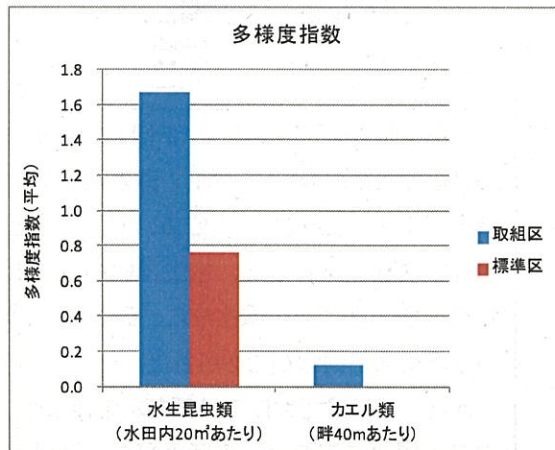
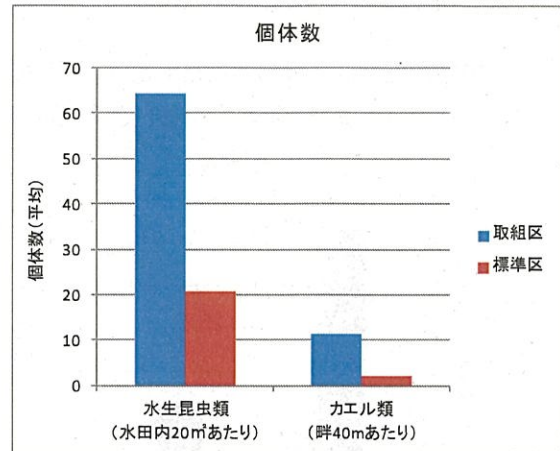
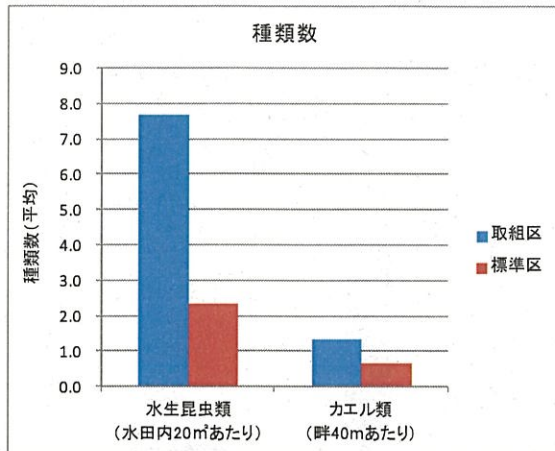


# 有機農業

## 取組区と標準区の比較

調査地点数:6地点	種類数		個体数		多様度指数※	
	取組区	標準区	取組区	標準区	取組区	標準区
水生昆虫類(水田内20m <sup>2</sup> あたり)	7.7	2.3	64.3	20.8	1.67	0.76
カエル類(畔40mあたり)	1.3	0.7	11.5	2.0	0.12	0

※多様度指数は「種の豊富さ」と「個体数のばらつき」を評価したもので、**数値が大きいほど生き物が豊かでバランスが取れている**ことを意味する。



有機農業の取組区分について、取組区と標準区を比較すると、水生昆虫類、カエル類の種類数・個体数ともに取組区の方が多くなる傾向が認められた。

多様度指数についても、水生昆虫類、カエル類ともに、取組区の方が高くなる結果となった。



取組区の水田 (永平寺町)



多く確認されたカエル類 (アマガエル)